

根室振興局管内で回収された死亡野鳥（オジロワシ）における
A型鳥インフルエンザウイルス簡易検査の結果（陽性）等について

令和4年（2022年）4月28日（木）

<概要>

根室及び石狩振興局管内で回収された死亡野鳥の簡易検査結果が確認されたのでお知らせします。

回収日	市町村 （（総合）振興局）	鳥の種類	羽数	検査結果
4月27日	羅臼町 （根室）	オジロワシ	1 ※1	・4/27実施の簡易検査の結果、陽性 ・今後、北海道大学で遺伝子検査を実施
4月28日	札幌市 （石狩）	ハシブトガラス	2 ※2	・4/28実施の簡易検査の結果、陽性 ・今後、研究機関（環境省調整中）で 遺伝子検査を実施

※1 本事例は、2/10に回収されたオジロワシの簡易検査陽性結果を受けて指定され、現時点において解除に至っていない野鳥監視重点区域内において回収された同一種であるオジロワシが簡易検査で陽性確認されたものであり、環境省「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」（以下「環境省マニュアル」）に基づき、道庁ホームページで公表するものです。今後、高病原性鳥インフルエンザが確認された場合は報道発表します。

※2 道内のハシブトガラスでの簡易検査の陽性率が100%に近いことから、環境省マニュアルが定める同一地域、同一種における継続事例として、道内の野鳥監視重点区域内におけるハシブトガラスの継続事例については、10羽以上の大量死があった場合や回収累積30羽ごとに簡易検査することとしています。

本事例については、継続事例発生区域において回収累積羽数が30羽に達したことから簡易検査を実施し、その結果を道庁ホームページで公表するものです。今後、高病原性鳥インフルエンザが確認された場合は報道発表します。

<留意事項>

- 現時点では、簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であるため、病原性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません。
- 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。

<本件に関する問い合わせ先>

環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係（担当者：車田）
TEL：011-231-4111（内線24-384）ダイヤルイン：011-204-5205